嘉麻市立碓井義務教育学校

令和8年度学校経営構想

鍛えて、ほめて、伸ばす！

公教育の立場

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、国、県、市の学校教育施策等、鍛ほめ福岡メソッド、福岡県人権教育推進プラン、嘉麻市教育基本条例、第6次嘉麻市教育アクションプラン

学校の教育目標

ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かでたくましい児童生徒の育成

児童生徒，地域の実態

・明るく、素直な児童
・固定化した人間関係
・自ら課題発見・解決する姿勢の欠如
・基本的生活習慣に課題
・保護者地域の教育力の格差

目指す教師像

・児童生徒理解に基づく指導を行う教師
・授業改善、自己研鑽に励む教師
・同僚性、協働性の高い教師
・児童生徒や保護者、地域から信頼される教師

目指す児童生徒像

・自ら課題を解決できる児童生徒**（知識・技能）**
・自ら考え、協働的に学び、考えを深める児童生徒**（思考力・判断力・表現力）**
・自他を信じ、他者から信頼される児童生徒**（学びに向かう力・人間力）**

目指す学校像

・安心、安全に学べる学校
・学力の保障と向上し、夢や希望を育み自己実現ができる学校
・人権尊重の視点に立った学校
・いじめを許さない学校
・保護者・地域と共に創る学校

教育課題

・学力の向上（基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力の向上、学びに向かう力の育成）
・人権意識・規範意識の醸成（自己指導能力の育成）
・不登校の未然防止と解消（人間関係調整力の育成）

重点目標

◎自他を信じ、他者から信頼される児童生徒【信は力なり】
・基礎、基本の定着と学ぶ意欲の向上（自ら学び・たくましい）
・人と繋がる挨拶（ふるさとを愛し・心豊か）
・清掃、整理整頓　（たくましい）

教育課程編成の基本方針

9年間のカリキュラムマネジメント
・時間確保　［習熟度別学習・繰り返し学習・課題別学習］
・拡充　　［対話、自己選択・自己決定、リトライの場］
・充実　　［ふるさと学習・キャリア教育］
・加配教員等の活用
・学びに向かう力の育成

学力向上プラン全体計画

各学年で目指す学力

〇前期（１・２学年）　※前期課程
　各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、それらを互いに伝え合うことを通して課題解決を図る力
　MIMの徹底、漢字・計算の徹底

〇 前期（第３・４学年）　※前期課程
　各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、身につけた表現方法を用いて互いに学び合いながら課題解決を図る力
　家庭学習の徹底、問いと発言の徹底

〇 中期（第５・６学年）　※前期課程
　各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、身につけた表現方法を目的に応じて適切に用いて、互いに学び合いながら課題解決を図る力
　家庭学習の徹底、自己決定と発言の徹底

〇 中期（第７学年）後期（第８・９学年）
　※後期課程
　各学年で学ぶ基本的・基礎的知識や技能を確実に習得するとともに、目的に応じてそれらを関連づけながら適切かつ多様な表現方法を用いて、他者と交流しながら課題解決を図る力

経営課題

・実践的指導力の向上（授業力・生徒指導力・対応力）
・9年後の姿を共有した小中一貫教育の推進（組織・行事の再編・精選、乗入れ授業、教科担任制、異学年交流の充実）・企画、起案、会議の効率化
・コミュニティスクールとして、保護者、地域、関係機関との信頼構築と連携

経営の重点

【組織運営に関すること】
・児童生徒像を共有した組織の構築
・生徒支援および生徒指導の共有
【教育課程に関すること】
・教科担任制・乗り入れ授業
【研修に関すること】
・県重点課題研修の充実
・客観的データ検証と主題研修による力量向上
・不祥事防止の徹底

校務運営の重点

教務運営の重点

各部の重点目標

〇　教育課程・各種教育部
・合理的配慮を踏まえた教育活動の改善
・考え議論する道徳科授業の推進
・ふるさと教育の推進
・コミュニケーション力や自己有用感を高める異学年交流
・適切な評価の実施
・系統的なキャリア教育の実施とキャリアパスポートの活用
・発達支持的生徒指導の推進
・積極的生徒指導による、規範意識の醸成
・児童生徒の自治的活動の推進
・職員研修の充実

〇　健康教育部
・発達段階に応じた命の授業と人権学習の実施
・特別支援コーディネーターを核とする支援体制の推進
・健康増進に努め、自己管理ができる児童生徒の育成
・事故の未然防止と迅速な組織対応の徹底

〇　庶務部
・学校安全の確保
・計画的な予算執行と、合理的かつ効率的な予算編成

☆地域連携
・コミュニティスクールの推進
・地域運営協議会、PTA役員会との連携の充実

各係の重点目標

学年経営の重点